

情報をいただきました  
 (財)神戸市都市問題研究所より「阪神淡路大震災 神戸復興誌」が、平成十二年一月一七日に発行されたとの連絡をいただきました。



震災から5年  
 神戸市の復旧・復興の  
 全記録を集大成!

死者・行方不明者四五七一名、負傷者一四六七九名、家屋の全・半壊一一二九二五棟、全・半壊七〇四五棟にのぼった神戸市における復興活動を豊富な図表・写真等で克明に記録。震災直後の応急復旧から、生活再建への取り組み、心のケア、復興まちづくり事業、産業・文化の再生、今後の防災対策の方向性、反省と教訓までを網羅した関係者必読の書!!

震災から5年—  
 神戸市の復旧・復興の全記録を集大成!

阪神・淡路大震災  
**神戸復興誌**  
 平成12年1月17日発売

第1部 総論  
 一 地震の概要、被災・復旧、災害対策本部、消防活動、市会 など  
 第2部 応急復旧編  
 一 救済物資・義援金、ボランティア、仮設住宅、倒壊家屋解体 など  
 第3部 生活復興編  
 一 復興計画、生活再建、住宅、福祉・医療、こころのケア、財政 など  
 第4部 産業・都市基盤編  
 一 経済、地域産業、道路・港湾・鉄道、ライフライン など  
 第5部 安全なまちづくり編  
 一 都市計画、協働のまちづくり、水とみどり、地域防災 など  
 第6部 資料編

編集・発行 神戸市  
 ■A4判・1,050頁・グラビアカラー・上製本  
 ■定価 6,000円(本体5,715円)  
 \*送料:別途実費(1冊660円)

お申し込み・お問い合わせは—  
 (財)神戸都市問題研究所  
 〒651-0083 神戸市中央区浜辺通5-1-14  
 TEL.078(252)0984 FAX.078(252)0877



人・街・ながた  
 震災資料室だより

人・街・ながた  
 震災資料室 発行  
 〒653 神戸市長田区北町3-4-13  
 電話(078)579-2311  
 発行人/寿 広文  
 編集人/武川・福谷

第39号



- 1 春へスタート、長田の宮神撫太鼓
- 2 「震災から5周年」  
再びあの被災地へ」ほか
- 3 情報をいただきました
- 4

春へスタート

長田の宮神撫太鼓

毎週水曜日、夕方六時半を過ぎると真野小学校の開放教室から「ドンドン・ドンドン・ドンドン」の音が響いてくる。長田の宮神撫太鼓研究会の始まりで、今晚の参加者は男性八名、女性十四名だ。

長田の宮神撫太鼓研究会は一九七五年に結成され「神戸まつり」をはじめ地域の催しに出演し、昨年は三十回も演奏している。

練習が始まって十五分位すると近所に住んでいる二才三ヶ月になる岩崎鳳淳ちゃんがおばあちゃんに連れられて仲間入りする。「なかよし太鼓」のメンバーも参加している。

代表の三浦清三さん(五三才)は「震

でメンバーが4人に減ってしまったが、「頑張れ真陽」「なかよし祭」「寅さん祭」等に出演した」そうだ。

太鼓の構成は、長胴太鼓、当り鉦、篠笛、チャップパからなっており単純なりズムの中から各自の個性を出しながら調和する。会の名称「神撫」は、現在の高取山を古来の人々は「神様が撫でてできた山」神撫山と呼んでいた」との由来だそうだ。

三浦さんは震災で傷ついた長田に「色々な国々の人々が集いコミュニティを育てる応援歌として打ち鳴らす」と語ってくれた。長田の宮神撫太鼓の問い合わせは

三浦清三さん

(078-642-3018)



昨年の神戸まつり

### 「震災から5周年 再びあの被災地へ」

あの阪神・淡路大震災から5年余が過ぎて、長田の街は徐々に姿を変え復興しています。しかし、長田区の人口は現在約10万7千人と震災前の13万人にはいまだに戻っていない状況にあります。

自治労本部は、当時、長田区役所内に設置した「自治労長田デスク」を軸に、避難所運営業務を中心に震災直後から3月末までの約2ヶ月間、全国各地から多数の組合員が長田区の復興のため献身的に活動支援していただきました。

あらためて感謝とお礼を申し上げます。そして、「人と人が支えあう」ことの大切さを学び、その時の貴重な体験を風化させないために「人・街・ながた震災資料室」を平成9年1月に被災地の長田区役所に開設し、震災関係資料を収集、保存してまいります。

震災5周年を契機にして、被災地からあらためてつぎの企画を発信することにした。  
主催 自治労  
人・街・ながた震災資料室 ほか

#### 1・座談会 「再び神戸へ」

- 出席者：(肩書は震災時)
  - 高嶋 良充 (自治労副委員長)
  - 斎藤 謙 (自治労組織局長・阪神淡路大震災復旧支援活動現地事務所長)
  - 森脇 健司 (自治労現業局長・復旧支援活動現地事務所スタッフ)
  - 兵藤 宏 (自治労兵庫県本部調査部長・復旧支援活動東灘デスク)

## 自治研

### 2 三年後の神戸

人びとが自治体をつくる。  
人びとと自治体が政府をつくる。  
人びとと自治体と政府が世界をつくる。

- 市川 斉 (SVA)
  - 清水 誠一 (神戸市職労長田支部長)
  - 木下 敏郎 (現神戸市長田区長) 司会
  - 笠見 猛 (現自治労政治政策局長)
- 以上のメンバーで当時の総括、今後の展望等をテーマに話し合います。

#### 2・月刊「自治研」特集号の発刊

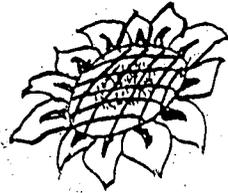
震災から5年...  
それぞれの報告と論文を掲載  
被災者の生活再建・支援NGOの現状・被災地との交流・地域FM放送の開始・在日外国人と震災・財政問題、都市計画問題、現地復興施策等を関係者が記述...



### 3・「防災自治研究集会」の開催

- 全体集会：兵庫県立文化体育館
  - 分科会：新長田勤労市民センター他
  - 時期は未定...
- ※震災資料室展・物産展等も実施予定

### サンクス・フラワー ひまわり



復興支援・感謝事業  
ひまわり銀行神戸本店



## “ひと”が輝き、“まち”が輝く

### 神戸21世紀・復興記念事業

#### ▽神戸新しいはじまり

すべてのやさしさに感謝して、二十一世紀の幕開けのときに、国内外からの震災復興に寄せられた多くの人々のご支援に感謝するとともに、神戸のまちの魅力と夢を発信します。

2001年(平成13年)1月17日から9月30日まで、多彩なイベントを神戸市内一円で開催します。

#### ★「サンクス・フラワー」ひまわり

感謝をイメージする花として「ひまわり」(向日葵)の種子を贈り、全国各地で太陽に向い大きな花を咲かせて、その種子を神戸へ持ち帰り、再び大輪のひまわりの花を咲かせます。

#### ★「神戸からの感謝の手紙」

あの震災の時、献身的な支援をいただいた方々に市民のひとりとして感謝の心を一通の手紙に託します。  
そして、新しく蘇った神戸の街で感動の再会の日を迎えます。

#### NEW・ランドフォルテ

地域に密着した学校の避難所分析したところ、高齢者のほとんどが校区内の小学校に避難。日ごろから災害時の記録写真や、避難所の日誌などを集めた「人・街・ながた震災資料室」からかわりの大切なことがあ

人・街・ながた震災資料室では震災資料の収集・保存活動を行っております。ご協力くださいますようお願いいたします。

神戸市  
神戸 21世紀・復興記念事業準備室  
〒650-0021 神戸市中央区三宮町1-9-1センタープラザ10F  
Tel.078-322-6391 Fax.078-327-0785  
E-mail:kobe21c@office.city.kobe.jp